

2022 年度

東京学芸大学 留学生センター

年 報

はじめに

留学生センター年報の2022年度版がまとまりましたのでお届けします。

2020年春以降、COVID-19（新型コロナウイルス感染症）のパンデミックに伴って留学生の往来は厳しい制約を受けてきましたが、今年度は国費留学生（教員研修留学生、日本語・日本文化研修留学生等）に加え、協定校からの交換留学生や私費外国人研究生等についても受入を再開しました。秋学期の合同開講式を三年ぶりに対面形式で行いました。

今年度本センターで受け入れた留学生は114名（内訳は4頁参照）にのぼり、昨年度より23名増加しております。このほか、正規生81名（学部13・修士課程57・博士課程11＝2022年10月1日現在）を加え、195名の留学生が本学教員の指導の下で学ぶこととなりました。

今年度も昨年度同様に、留学生センターの専任教員4名と特任教員2名、非常勤講師の先生方、学務部国際課のスタッフ等々で諸事業に取り組みました。それぞれの具体的な取り組みに関しましては以下の各記事をご覧ください。それだけだと思いますが、本学の学部・大学院等の通常授業と同じく留学生対象授業も対面を基本に行い、また留学生向けの諸事業についてもコロナ禍前に近い形での実施が行えました。しかしながら、一部授業においてオンライン形式や、オンラインと対面の併用（いわゆるハイブリッド）形式などが混在し、また日本の教育や文化を留学生たちが実地に学ぶ機会の提供や交流事業等につきましても、感染症拡大防止の観点から制約を受けた部分もあり、決して平坦な運営ではなく、本センター教職員の苦労は依然として続いております。

次年度からは大学の組織再編に伴い、本センターの業務は、改組後の大学教育基盤整備機構内の国際交流／留学生センターに引き継がれることとなります。アフター・コロナの情勢を見据えつつ、日本に関心を持ち、日本で学ぶことを願う世界各地の学生たちに豊かな学びの場を与えるとともに、本学に学ぶ日本人の学生たちにとっても豊かな異文化理解や異文化コミュニケーションの拡がりの機会を与えることが、改組後の新センターに期待されることと思われまます。

「留学生センター年報」としては最後になりますが、今年度の本センターを支えてくださった学内・学外の方々に深く御礼申し上げるとともに、本学の国際交流事業への引き続きのご支援、ご鞭撻のほどを切にお願い申し上げます。

留学生センター長
岩田 康之

目次

はじめに

1. 全学留学生対象の事業	
1.0 受入れ留学生数（学部および大学院正規生を除く）	4
1.1 日本語科目の構成	4
1.2 日本語1～5：開講枠数およびプレースメントテスト受験者数	4
1.3 日本語1～5：レベル別開講科目（春学期）	4
1.4 日本語1～5：レベル別開講科目（秋学期）	5
1.5 日本語集中コース（日本語5）	5
1.6 日本理解・多文化共修科目開講枠数	5
1.7 留学生による授業評価	5
1.8 見学・交流・体験事業	6
1.9 研究・生活支援事業	6
2. 国費研究留学生および教員研修留学生（教研生）対象の事業	
2.1 2021年度入学教員研修留学生と研究発表題目	8
2.2 2021年度入学教員研修留学生 主な行事	8
2.3 2022年度入学教員研修留学生	9
2.4 2022年度入学教員研修留学生 主な行事	9
3. 日本語日本文化研修プログラム留学生（日研生）対象の事業	
3.1 2021年度10月入学日研生および修了レポート題目	10
3.2 2021年度10月入学日研生 春学期主な行事	11
3.3 2022年度10月入学日研生	11
3.4 2022年度10月入学日研生 主な行事	11
4. International Student Education Program (ISEP)生対象の事業	
4.1 2021年度10月入学 ISEP生および個人研究題目	12
4.2 2021年度10月入学 ISEP生春学期主な行事	12
4.3 2022年度10月入学 ISEP生	12
5. シラパコーン大学7+1プログラム留学生対象の事業	
5.1 2022年度4月入学 シラパコーン大学7+1プログラム留学生	13
5.2 2022年4月入学 シラパコーン大学7+1プログラム留学生 主な行事	13
6. その他の活動	14
7. 教員の教育・研究活動	15
資料1 日本語科目（日本語1～5）一覧（*印は学部開設科目）	23
資料2 日本理解科目一覧	25
資料3 International Student Education Program (ISEP) 科目一覧	26
資料4 主な行事の写真	27
資料5 各プログラム概要	28
■日本語日本文化研修プログラム概要（2016.10～）	
■ISEPプログラム概要	
■教員研修プログラム	
■シラパコーン大学7+1プログラム	

1. 全学留学生対象の事業

1.0 受け入れ留学生数（学部および大学院正規生を除く）

	春学期			在籍	新規	計
	在籍	新規	計			
交換留学生*（一般）	6	19	25	19	13	32
交換留学生*（ISEP）	1	2	3	0	5	5
日本語日本文化研修留学生	7	-	7	-	13**	13
教員研修留学生	10	-	10	10	9（3）**	19
国費研究留学生	1	0	1	2	0	2
私費研究生	4	13	17	4	16	20
SU7+1プログラム	-	5	5	-	-	0
計			68			91

*COVID-19 感染拡大のため、交換留学生は春学期・秋学期とも来日できず、リモート受講となった。

**国費留学生は10月～11月に来日。来日まではリモート受講。

（ ） 予備教育生人数

1.1 日本語科目の構成

	授業形態	必修・選択の別	クラスの決定方法
日本語1	一般 1科目当り 週2時間	選択	全学日本語プレースメントテストならびに Can-do statements 調査による
日本語2			
日本語3			
日本語4			
日本語5	集中 週18時間	国費研究留学生・教員研修留学生で日本語能力の低い者は必修	学習歴調査による

1.2 日本語1～5：開講枠数およびプレースメントテスト受験者数

	春学期	秋学期	計
開講枠数	45（枠）	47（枠）	92（枠）
プレースメントテスト受験者数	67（人）*	93（人）*	163（人）

*オンラインでテストを実施した。

1.3 日本語1～日本語5：レベル別開講科目（春学期）

	総合	作文	講読	会話	漢字	聴解	文法	特別演習	計
日本語1	1	1	1*	1	1*	1	1	1	9
日本語2	1	1	1	1	1	1	1	1	9
日本語3	2	2	1	1	1	1	1	1	9
日本語4	4	4	1	1	1	1	1	-	9
日本語5	7	7	-	-	-	2	-	-	9

*これ以外に国語科教室で開設している学部の日本語科目が各1枠ある。

**合同レベル開講科目を含む。

1.4 日本語1～5：レベル別開講科目（秋学期）

	総合	作文	講読	会話	漢字	聴解	文法	特別演習	プロジェクト	計
日本語1	1	1*	1	1*	1	1	1	2	1**	10
日本語2	1	1	1	1	1	1	1	2**		10
日本語3	2	1	1	1	1	1	1	1**	-	9
日本語4	4	1	1	1	1	1	-	-	-	9
日本語5	4	1	1	1	2	-	-	-	-	99

*これ以外に国語科教室で開設している学部の日本語科目が各1枠ある。

**合同レベル開講科目を含む。

1.5 日本語集中コース（日本語5）

	学期	開講枠数（科目別内訳）	受講者数（身分別内訳）
日本語5	春	9 枠/週 (総合7・文字2)	2 名 (国費研究生1名, 一般交換留学生1名)
	秋	9 枠/週 (総合4・文字2・会話1・ 作文1・講読1)	3 名 (教員研修生3名)

1.6 日本理解・多文化共修科目開講枠数

	春学期	秋学期	計
多文化共修科目 (留学生センター開設 CA科目)	3	3	6 (枠) *
日本理解 (留学生センター開講)	4	4	8 (枠) *

*ただし、日本理解Aと多文化共修科目E、日本理解Fと多文化共修科目Fは同一科目である。

1.7 留学生による授業評価

春学期全体集計結果		問6	問7	問8	問9	問10	問11	問12	問13	問14	問15	問16
回答総数	平均	4.87	4.72	4.63	4.63	4.89	4.75	4.79	4.86	4.71	3.92	2.96
110	標準偏差	0.51	0.69	0.80	0.73	0.48	0.71	0.64	0.52	0.70	0.47	0.47

秋学期全体集計結果		問6	問7	問8	問9	問10	問11	問12	問13	問14	問15	問16
回答総数	平均	4.86	4.78	4.65	4.65	4.90	4.81	4.83	4.85	4.84	3.92	2.97
234	標準偏差	0.48	0.52	0.82	0.82	0.41	0.54	0.51	0.47	0.48	0.51	0.50

[アンケート項目]

問6. 授業科目名や目標にあった授業内容だった。

[5 4 3 2 1]

問7. 授業内容がよく理解できた。

[5 4 3 2 1]

問8. 興味を持って受講できた。

[5 4 3 2 1]

問 9. 新しい知識・能力・技能が身についた。	[5 4 3 2 1]
問 10. 教員は熱心だった。	[5 4 3 2 1]
問 11. 教員の指示はわかりやすかった。	[5 4 3 2 1]
問 12. 教員の説明は適切だった。	[5 4 3 2 1]
問 13. 教員は質問にわかりやすく答えてくれた。	[5 4 3 2 1]
問 14. 教員の話し方は聞き取りやすかった。	[5 4 3 2 1]
問 15. 教材は適切だった。	[5 4 3 2 1]
問 16. (日本語のクラスについて聞きます。) あなたにとってこのクラスは、 [5:むずかしすぎた 4:むずかしかった 3:ちょうどよかった 2:やさしかった 1:やさしすぎた]	

1.8 見学・交流・体験事業

附属学校及び公立学校との交流

- ・ 附属小金井小学校での交流授業（日本語日本文化研修プログラム生 9 名, 11 月 16 日, 1 月 18 日/教員研修留学プログラム生 5 名, ISEP 生 8 名, 11 月 16 日）
- ・ 附属竹早小学校との交流授業（教員研修留学プログラム生 5 名, ISEP8 名, 12 月 14 日）
- ・ 都立小金井北高校との異文化交流授業（高大連携事業の一環として実施, 教研生 5 名, ISEP 生 8 名, 12 月 21 日, 1 月 11 日）
- ・ 東京都立淵江高等学校との交流（日研生 9 名, 2 月 16 日）

その他の交流・見学・体験・講演会等事業

日本文化に関連した各種見学・体験学習

- ・ 講演会「コロナ禍の移民たち(講師：鳥井一平)」(学内 36 名, 学外 59 名, 5 月 25 日, オンライン)
- ・ 江戸糸あやつり人形結城座公演（全学学生 18 名, 6 月 8 日, 6 月 9 日）
- ・ 歌舞伎鑑賞教室（教研生 7 名, 日研生 13 名, 研究生 4 名, 一般交換留学生, 他 8 名計 32 名, 7 月 27 日）
- ・ 漫画ワークショップ（シラパコーン生 4 名, ISEP 生 6 名, 学部生 3 名, 5 月 18 日）
- ・ 忍者ワークショップ（全学留学生 8 名, 対面, 6 月 29 日）
- ・ 江戸東京たてももの園（教研生 2 名, 日研生 9 名, 学部生 1 名 11 月 30 日）
- ・ 文楽鑑賞教室（留学生 26 名, 学部生 1 名, 12 月 12 日）
- ・ 国際交流漫才（留学生 13 名, 学部生 5 名, 12 月 14 日）
- ・ 大相撲トーナメント（留学生 26 名, 学部生 1 名, 2 月 5 日）

日本人学生との交流促進

- ・ 留学生歓迎交流会（留学生 26 名, 一般学生 23 名, 4 月 13 日）
- ・ 春のお散歩（留学生 12 名, 一般学生 21 名, 4 月 27 日）
- ・ 中国文化イベント（全学学生 15 名, 6 月 22 日）
- ・ 秋のお散歩（留学生 15 名, 一般学生 16 名, 10 月 26 日）
- ・ 留学生カフェ（秋学期毎週木曜日昼休み全 8 回, 学生団体 Inter 企画運営）
- ・ 国際交流年末パーティ（留学生 20 名, 一般学生 5 名, 12 月 28 日）
- ・ カフェ講座「海外の学校教育事情」（オンライン実施, 参加者延べ 70 名, 春学期計 4 回の開催）
- ・ 国際交流合宿（コロナ禍のため未実施）

1.9 研究・生活支援事業

- ・ 全学留学生オリエンテーションにおける修学・生活上の指導（春学期生対象は令和 3 年 3 月末にオンライン実施, 秋学期生は 10 月に対面で実施）
- ・ オフィスアワー等を利用した生活相談・学修支援
- ・ 防災等にかかる学習活動のための立川防災館見学（日研生 9 名, 国費研究生 1 名, 1 月 11 日）

- 留学生支援のための「日本語トークルーム」（春学期週 13 コマ, 留学生 16 名, 日本人学生 35 名参加, 秋学期週 7 コマ, 学生団体 Inter 運営)
- オンライン授業の受講を支援するためのヘッドセット、ウェブカメラ等の購入と貸し出し
- TA 雇用による留学生へのオンライン授業サポート(問い合わせ、ソフトウェアのインストール等)

2. 国費研究留学生および教員研修留学生（教研生）対象の事業

2.1 2021 年度入学教員研修留学生と研究発表題目

国名	氏名	指導教員
大韓民国	ミン スヒョン	岡 智之
韓国高等学校日本語教育における文化教育の再考察と実践的なカリキュラム開発		
大韓民国	ペ ヒョゴン	上杉 嘉見
小学校国語科におけるメディアリテラシー教育の韓日カリキュラム比較		
大韓民国	チェ ソヒョン	粕谷 恭子
A Comparative Study of the Teacher' s Guides for Elementary School English Textbooks in Japan and Korea - Focusing on Intercultural Communicative Competence. -		
コンゴ民主共和国	ムズィンガ ラビ-オスカー レムフ	末松 裕基
Comparative Analysis of the Evolution of Japanese and Congolese Education System from the 1960s to Present: Case of STEM System Incorporation.		
インドネシア	ドナ アルミン デイ	阿部 始子
Cultural content in EFL textbooks in Japan and Indonesia.		
大韓民国	チョン ヒョンジン	白倉 美里
Comparative Analysis of Middle School English Curriculum in Korea and Japan.		
大韓民国	ユン ソンウン	高橋 純
日本の「GIGA スクール構想」による授業方式の変化 — 「1人1台端末」活用授業を通じた個別最適な学びと共同的な学びを中心に—		
大韓民国	パク ジョンヒョン	粕谷 恭子
Effective Use of Group Activities in Elementary English Education.		
ボツワナ	マサラ ツェケディ	荒川 悦雄
The importance of instilling science life skills to learners to improve academic performance.		

(9名)

* 『2021.10～2023.3 教員研修留学生研修プログラム最終報告書』として刊行予定

2.2 2021 年度入学教員研修留学生 主な行事

- 2021** October 15 (Fri) Classes begin
 Dec8 (Wed) Visit to Takehaya Elementary School(online)
 Dec14 (Tue) Discover Bunraku (National theater)
 Dec15 (Wed) Visit to Affiliated Koganei Elementary School
 Dec22 (Wed) Edo-Tokyo Open Air Architechtural Musuem
- 2022** Feb10 (Thu) Classes end
 Mid-April Orientation II
 April 12 (Tue) Class begin
 July 27 (Wed) Discover Kabuki
 August 02 (Tue) Classes end.

October 17 (Mon) Classes begin
 December 28 (Wed) The last school day before holiday
2023 January 04 (Wed) Classes restart
 February 10(Fri) Classes end
 13 (Mon) Closing date for submission of research report
 24 (Thu) Presentation of research report & The closing ceremony

2.3 2022 年度入学教員研修留学生

国名	氏名	指導教員
シンガポール	ング ビン ユアン ウィルソン	松浦 執
大韓民国	シン スジン	粕谷 恭子
大韓民国	キム スヨン	高橋 純
モザンビーク	ニゲール ベネディット フィリモネ	末松 裕基
大韓民国	リュ イェジ	笠原 広一

(5名)

2.4 2022 年度入学教員研修留学生 主な行事

2022

Oct 12 (Wed) Orientation
 Oct 17 (Mon) Classes begin
 Nov 07-8 (Mon, Tue) Koganei Festival こがねいさい (No class)
 Nov 03 (Tue) Culture Day (No class)
 Nov 23 (Wed) Labor Thanksgiving Day (No class)
 Nov 16 (Wed) Visit to Affiliated Koganei Elementary School
 Nov 30 (Wed) Visit to Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum
 Dec 12 (Mon) Discover Bunraku 2022
 Dec14 (Wed) Visit to Affiliated Takehaya Elementary School
 Dec 21 (Wed), Jan 11 (Wed) Visti to Koganei High School
 Dec 28 (Wed) The last school day before holiday

2023

Jan 04 (Wed) Classes restart
 Jan 09 (Mon) Coming-of-Age Day (No class)
 Jan 13 (Fri) Preparation for entrance examination (No class)
 Feb 10(Fri) Classes end (Compensation of Monday class)
 Feb 13 (Mon) ~ 17 (Fri) Period for makeup classes

3. 日本語日本文化研修プログラム留学生（日研生）対象の事業

3.1 2021年度10月入学日研生および修了レポート題目

氏名	国籍・所属大学	指導教員
修了レポート題目		
ジョン ソヒ	韓国 嘉泉大学	有澤 知乃
日本における大学生の部活に対する意識：参加動機を中心として		
ユルズルム ムラト	トルコ アンカラ大学	有澤 知乃
現代日本のマンガに見られる模倣のあり方に対する読者の意識： 『ワンピース』を事例として		
オル オウズハン ムハムメット	トルコ チャナッカレ・オンセキズ・マルト 大学	岡 智之
トルコと日本の新型コロナウイルスの状況の比較		
フロレンシオ クイン ダニスレネ	ブラジル UNICID (サンパウロ市立大学)	岡 智之
日本社会に従来メディアとインターネットが与えている影響		
ジェヴィズ セハー	トルコ チャナッカレ・オンセキズ・マルト 大学	小西 円
日本とトルコのことわざにおける動物イメージ		
キュルカン アイチャ	トルコ チャナッカレ・オンセキズ・マルト 大学	小西 円
日本語及びトルコ語のEメールの構造比較		
トンパン ウアブン	タイ コンケン大学	伊能裕晃
日本語の授業に活用できる伝承遊び		
コ ウンビ	韓国 啓明大学	山出 裕子
『何者』で表現されているSNSを利用する現代の若者の特徴		
ファム フ サン	ベトナム ハノイ国家大学外国語大学	許夏玲
日本語の若者ことばの特徴		
テュルハン アフメット フルカン	トルコ エルジェス大学	伊能 裕晃
秋葉原 変化を力とする街		
フィロソピ フィルマン フィルダウザ	インドネシア インドネシア教育大学	許 夏玲
日本語会話にみる批判表現の使用実態		
アプラクシン ハンス フィリップ	スウェーデン ヨテボリ大学	小西 円
幸福の翻訳方法		
ペーターライト ニコラス	ドイツ ハイデルベルグ大学	許 夏玲
日本の外食産業における持続可能性と市民社会組織の取組み		

(計7名)

* 『2021.10～2022.8 日本語日本文化研修留学生 研修レポート集』として刊行

3.2 2022年度10月入学日研究生 春学期主な行事

- 5/25 (水)、6/1 (水) 研究レポートの中間発表会
- 6/29 (水) 忍者ワークショップ
- 7/27 (水) 歌舞伎鑑賞教室
- 7/26 (火) 国際課へ研究レポートを提出
- 8/3 (水) 研究レポートの発表会と修了式

3.3 2022年度10月入学日研究生

氏名		指導教員
ウィチャー ティティスダー	タイ	小西 円
ナムボン ティティゴーン	タイ	伊能 裕晃
ヤークブオール ネリマン	トルコ	有澤 知乃
ケスィム ギュルスムヌル	トルコ	岡 智之
タチュルドウズ ナズルジャン	トルコ	小西 円
イ ソヒョン	大韓民国	岡 智之
グエン ドウック ヴィエト ホアン	ベトナム	小西 円
チュオン コン リー	ベトナム	有澤 知乃
オルソン ロビン クリストファー	スウェーデン	岡 智之

(計9名)

3.4 2022年度10月入学日研究生 主な行事

- 10/19 (水) 図書館オリエンテーション
- 11/2 (水) 研究テーマ発表会 1人10分 (質疑応答含む)
- 11/16 (水) 附属小金井小学校との交流 (1回目)
- 11/30 (水) 江戸東京たてももの園見学
- 12/12(火) 外国人のための文楽鑑賞教室 Discover Bunraku
- 12/14 (水) 国際交流漫才
- 12/28 (水) 国際交流年末パーティ
- 1/11 (水) 立川防災館見学
- 1/18 (水) 附属小金井小学校との交流 (2回目)
- 1/25 (水) 研究レポート構想発表 (1) 1人15分 (質疑応答含む)
- 2/1 (水) 研究レポート構想発表 (2)
- 2/16 (木) 都立淵江高校との交流

4. International Student Education Program (ISEP) 留学生対象の事業

4.1 2021年度10月入学 ISEP 生および Individual Study(個人研究)題目

『ISEP Individual Study 東京学芸大学短期留学プログラム個人研究レポート集 Autumn 2021-Spring 2022』として刊行

	氏名	所属大学	指導教員	個人研究題目
1	Wang, Sing-Yi (王 馨儀)	National Taiwan University (国立台湾大学)	Ushigaki, Yuya (牛垣 雄矢)	What is LDK? The History and the Special Design of Japanese House Layout
2	Chan, Sze Pui (陳 詩蓓)	Chinese University of Hong Kong (香港中文大学)	Matsukawa, Seiichi (松川 誠一)	Konbini in Japan: Case Study on Japanese and Hong Kong's Perceptions
3	Li, Tsz Qiu (李 芷翹)	Chinese University of Hong Kong (香港中文大学)	Konishi, Kodai (小西 公大)	Are There Any similarities and Differences in the Fans' Culture of Arashi in Japan and Hong Kong?
4	Yeung, Ting Long (楊 庭朗)	Chinese University of Hong Kong (香港中文大学)	Tetsuya, Etsuro (鉄矢 悦朗)	Japanese Outdoor Advertisement: what Makes a Catchy Slogan?
5	Merwann Raber Ziani	University of Grenoble Alpes (グルノーブル・アルプ大学)	Arisawa, Shino (有澤 知乃)	Perspectives of Christianity: Comparative Study on Christians in Japan and Overseas Countries
6	He, Yue Min (何 月敏)*春学期のみ	Beijing Normal University (北京師範大学)	Ota, Nobuyoshi (大田 信良)	Classroom Silence: A Comparison of Chinese and Japanese Students' Response to English Teaching Methods in Senior High School.

4.2 2021年度10月入学 ISEP 生 春学期主な行事

4/27 フィールドワーク：メイドカフェから見た日本のサブカルチャー in 秋葉原

5/25 フィールドワーク：銀座の歴史と変遷から考える日本文化、歌舞伎座ほか見学

6/22 フィールドワーク：銀座の歴史と変遷から考える日本文化、歌舞伎座ほか見学

4.2 2023年度10月入学 ISEP 生

	氏名	所属大学	指導教員
1	LI Yi-rong (李依蓉) *	National University of Taiwan (国立台湾大学)	Kimizuka, Yoshihiko (君塚 仁彦)
2	Fang Chih-lun (房芷倫)*	National University of Taiwan (国立台湾大学)	Ushigaki, Yuya (牛垣 雄矢)
3	Ng On Kei (吳 安琦)	Chinese University of Hong Kong (香港中文大学)	Sugimori, Shinkichi (杉森 伸吉)
4	Chan Sze Wing (陳 詩穎) Sabrina	Chinese University of Hong Kong (香港中文大学)	Hirano, Maiko (平野 麻衣子)
5	Lau Wing Yan (劉 穎欣) Vivian	Chinese University of Hong Kong (香港中文大学)	Asano, Tomohiko (浅野 智彦)
6	Margaux Sara Jeanne Laurito	University of Orleans	Iwata, Yasuyuki (岩田 康之)
7	Amelie Elodie Pauline Labalme	University of Grenoble Alpes	Arisawa, Shino (有澤 知乃)
8	Kylan Gregory Constantino	University of Hawaii at Hilo	Usukura, Misato (白倉 美里)

5. シラパコーン大学7+1プログラム留学生対象の事業

5.1 2022年度4月入学 シラパコーン大学7+1プログラム留学生

氏名	所属大学
ブンシリソムバート・ピンヤー	タイ・シラパコーン大学
ティーヤウェトシャクン・パーピモン	タイ・シラパコーン大学
スプリーチャーウッティポン・アーパーシリ	タイ・シラパコーン大学
シナブンヤーノン・インタット	タイ・シラパコーン大学

* 2名が渡日し、2名はタイからオンラインで参加。(計4名)

5.2 2022年4月入学 シラパコーン大学7+1プログラム留学生 主な行事

- 4/13 オリエンテーション、
- 5/11 発表会1 タイと日本の違いについて
- 5/18 マンガワークショップ (ISEPプログラム主催のワークショップに参加)
- 6/22 発表会2 インタビュープロジェクト 日本を知る
- 6/29 日本の自然と文化に関するオンラインワークショップ
- 7/6 発表会3 インタビュープロジェクト 個人テーマ発表
- 7/13 華道オンラインワークショップ
- 7/28 日本の会社文化についてのオンラインワークショップ

6. その他の活動

広報および修了留学生ネットワーク構築にかかる事業

- ・ 『令和4年度留学生センター年報』の発行（3月末予定）
- ・ ホームページの充実
- ・ 全学留学生対象（非正規生）のメーリングリストの更新と利用
- ・ Facebook を利用した修了生のネットワークによる情報の発信と活用
- ・ Facebook を利用した在籍留学生への情報発信
- ・ 各種の行事やイベントのウェブ申込みシステムの推進

派遣留学生支援事業

- ・ 海外交流協定校の情報収集と希望者への情報提供
- ・ 共修科目をはじめ、留学生との協働体験・交流活動（カフェ講座、留学生カフェ、にほんごトークルーム、文化体験活動等）

留学生の修学・生活支援に関する連携および情報収集

- ・ 「留学生の学習と生活に関するアンケート」の実施（7月・12月）
- ・ 総合学生支援機構との連携
- ・ 国立大学法人留学生センター等留学生指導担当研究協議会（オンライン）への参加（7月）

その他

- ・ 留学生センターが管轄する教室・情報演習室の機器・備品類の維持・管理
- ・ 海外交流協定校の教員・学生への対応および交流活動の実施
- ・ 渡日ができない海外からの受講留学生やオンライン授業を実施する非常勤講師に対して、学芸大WebClass や Teams の使用方法についての研修会・書面によるお知らせ、授業に使用する ICT 機器の貸し出しや整備等を行った。

7. 教員の教育・研究活動

■有澤 知乃

【センター内主担当】 日本理解教育担当（専任教員）

【研究分野】 民族音楽学，日本研究

【研究活動】

①論文

Arisawa, Shino. 2022. Cultural Boundaries and Interactions between Immigrant and Host: Chinese Performing Arts in Japan's Chinatowns. In Folk and songs in Japan and Beyond: A Festschrift for David W. Hughes, ed. By M. Gillan, K. Day, and P. Huang. Newcastle, UK: Cambridge Scholars, pp.218-235.

②口頭発表

Arisawa, Shino. Chinese Revolutionary Songs Passed on at the Overseas Chinese Schools in Japan. International Council for Traditional Music (ICTM) 46th World Conference. July 22, 2022. Lisbon, Portugal (online presentation).

有澤知乃「箏曲家カーティス・パターンソンに聞く、日本伝統音楽のゆくえ」、国際日本研究への誘い、東京外国語大学国際日本研究センター夏季セミナー、2022年7月15日

【教育活動】

学部・センター共通開設科目

（春学期）「Global Japan Studies A」

「Exploring the Cultural Diversity of Japan (I)」

（秋学期）「Global Japan Studies B」

「Exploring the Cultural Diversity of Japan (II)」

「Traditional Performing Arts of Japan」

「多文化共修科目D（世界の民族と文化）」

学部開設科目

（春学期）「学芸フロンティア科目C」

大学院開設科目

（春学期）「Global Citizenship and Education」

「Global Education from Intercultural/Interdisciplinary Perspective」

（秋学期）「地域文化（日本A）」

指導学生

日研究生4名、ISEP生2名、交換留学生2名、シラパコンプログラム生1名

研究生1名

【その他の活動】

①学内

国際戦略推進本部委員

国際戦略推進本部外国人留学生の受入れとグローバル人材の養成プロジェクト実施委員会（ISSUP）委員

留学生教育プログラム（ISEP）コーディネーター

②学外

科学研究費補助金 基盤（C）「多様化する中華学校における音楽教育の民族音楽学的研究」（研究代表者）

【所属学会】

International Council for Traditional Music, European Association for Japanese Studies

東洋音楽学会, 日本音楽学会

■伊能 裕晃

【センター内主担当】日本語教育担当（特任教員）

【研究分野】日本語教育学，文章・談話論

【教育活動】

1. 著書

1. ユーゴะ มิโยชิ, ยูการิ ฮนตะ, ฮิโรอากิ อิโนะ, ซาโตมิ คุรุสึ, คานาโกะ มาเอโบ (2022)
『Go! JLPT N1 คำศัพท์』 TPA
2. ユーโกะ มิโยชิ, ยูการิ ฮนตะ, ฮิโรอากิ อิโนะ, ซาโตมิ คุรุสึ, คานาโกะ มาเอโบ (2022)
『Go! JLPT N2 คำศัพท์』 TPA

2. 留学生センター開設科目

- (春学期) 「日本語 4 漢字 A」 「シラパコーン特別演習」
(秋学期) 「日本語 3 講読 B」 「日本語 4 作文 B」 「日本語 4 会話 B」 「日本語 5 漢字 B」
「日本語 1・2 特別演習 (プロジェクト)」 (「学芸フロンティア科目 F」との合同授業)

3. 学部開設科目

- (春学期) 「多文化共修科目 C (世界の言語と文化)」
(秋学期) 「学芸フロンティア科目 F」 (「日本語 1・2 特別演習 (プロジェクト)」との合同授業)

【その他の活動】

①学内

- ・ シラパコーン 7+1 プログラム コーディネーター
- ・ 協定校コーディネーター (インドネシア・インドネシア教育大学)

②学外

- ・ 講習会「外国人が日本語でできることを増やすために-JLPT を知る-」清瀬市国際交流会日本語教室学習会

【所属学会】

日本語教育学会，留学生教育学会，日本文体論学会，早稲田大学日本語学会

■岡 智之

【センター内主担当】 日本理解教育担当（専任教員）

【研究分野】 言語学、日本語文法

【研究活動】

1 著書・論文

『「ナル的表現」をめぐる通言語的研究－認知言語学と哲学を視野に入れて－』ひつじ書房、池上嘉彦・守屋美千代監修、岡智之・栗林裕・宮岸哲也・角道正佳編、2023年3月

2 講演

『場と言語・コミュニケーション』出版記念シンポジウム（ひつじ書房後援）、講演「場の言語学への招待」、2022年7月30日（土）オンライン開催、

【教育活動】

1. 留学生センター開講科目

（春学期） 「日本語2文法」

（秋学期） 「日研生特別演習」

2. 学部開講科目

（春学期） 「多文化共修科目 A（多文化社会の課題解決プロジェクト）」

（秋学期） 「多文化共修科目 B（多言語社会とコミュニケーション）」
「日本語教育演習」

3. 大学院開設科目

（春学期） 「日本語教育ⅠA」「フィールド研究B」

「次世代日本型教育と日本語教育」（オムニバス科目4回）

（秋学期） 「日本語教育ⅡA」「フィールド研究A」

4. ゼミ等

（春学期） 修論ゼミ（金4）（秋学期） 修論ゼミ（金4）

5. 指導学生：修士4名、研究生6名、日研生3名（春2・秋2）、教研生1名、交換留学生2名

6. 修士論文審査：主査4名、副査5名

【その他の活動】

(1) 学内

1. 大学院修士課程日本型教育システム研究開発専攻・専攻代表

2. 国際交流グループ INTR 顧問（留学生カフェ、にほんごトークルーム、国際交流企画）

3. Explayground 「多様性ラボ GAIA」立ち上げ、7/10 フィールドワーク「鶴見沖縄南米タウン探訪」、7/13 シンポジウム「ウクライナ情勢から考える日本の難民・入管問題」

4. 東京学芸大学ヒューマンライブラリー2022, 2022年12月11日（日）（実行委員会代表）、報告書あり

5. 公開講座「太極拳でマインドフルネス」7/9, 23, 10/16

6. 学芸大学陳式太極拳愛好会立ち上げ

2 学外

1. 「場の言語・コミュニケーション研究会」事務局長（年間3回会議主催）

2. ナル表現研究会参加（年間3回開催）

3. 小金井市国際支援協会（KISSA）外国につながる児童生徒の支援協力

【所属学会】

日本認知言語学会, 日本語教育学会, 異文化間教育学会

■小西 円

【センター内主担当】日本語教育担当（専任教員）

【研究分野】 日本語教育学、日本語学

【研究活動】

①著書

田中祐輔・陳秀茵・牛窪隆太・森篤嗣・小西円・張玥（2022）『書き込み式 表現するための語彙文法練習ノート〈下〉』凡人社

②論文

小西円（2022）「学習者が白書を読む難しさ」野田尚史・桑原陽子編『日本語コミュニケーションのための読解教材の作成』pp.145-160, ひつじ書房

小西円（2022）「「わーい」っていつ使う？」金澤裕之・山内博之編『一語から始める小さな日本語学』pp.3-17, ひつじ書房

張俊杰・小西円（2023）「日本語動画教材の作成を目指したオンライン動画コンテンツの分析—— YouTube と Bilibili の動画を対象に ——」『東京学芸大学紀要総合教育科学系』74, pp.600-613

近藤智子・小西円（2023）「日本語学習者の自己添削を困難にする要因についての一考察—— 研究計画書の草稿に見られる文法的な問題に着目して ——」『東京学芸大学紀要総合教育科学系』74, pp.614-632

李琦・小西円（2003）「中国語を母語とする中・上級日本語学習者のストーリーテリングにおける接続表現の使用特徴」『東京学芸大学紀要総合教育科学系』74, pp.633-645

③学会発表

小西円（2022）「上級日本語学習者の文体把握に関するケーススタディー「BCCWJ 図書館サブコーパス文体情報」を用いた読解調査—」言語資源ワークショップ 2022（2022年8月31日 オンライン）

【教育活動】

1. 留学生センター開設科目
（春学期）「日本語 5 総合文法 A5」
2. 学部開設科目
（春学期）「日本語教育概論」、「日本語教育基礎研究」
（秋学期）「日本語教育教材開発論」
3. 大学院開設科目
（春学期）「日本語教育ⅠC」、「次世代日本型教育と日本語教育」（オムニバス）、
「フィールド研究 B」
（秋学期）「日本語教育ⅡC」、「フィールド研究 A」
4. その他ゼミ
（春学期）大学院修論ゼミ
（秋学期）学部卒論ゼミ、大学院修論ゼミ
5. 指導学生
学部：8名、修士：6名、研究生：1名、日研生：3名（春学期）、3名（秋学期）
6. 論文指導
卒業論文：4名（主査）、6名（副査） 修士論文：4名（主査）、6名（副査）

【その他の活動】

①学内

1. 先端教育人材育成推進機構（ユニットC）担当
2. 2022年～2023年度教員研修留学プログラム担当
3. 2021年～2022年度日本語日本文化研修留学生プログラム担当
4. 国語科教室兼任教員

②学外

1. 科学研究費補助金 若手研究「テキストの特徴からみた日本語教育のための類義表現研究」
(研究代表者)
2. 科学研究費補助金 基盤研究 (B) 「「話題から始まる日本語教育」を支援する情報サイトの構築と話題別会話コーパスの拡充」 (研究分担者)
3. 第二言語習得研究会 ジャーナル委員会 副委員長
4. 小出記念日本語教育学会 編集委員

【所属学会】

日本語教育学会、日本語文法学会、社会言語科学会、ヨーロッパ日本語教師会、計量国語学会

■許 夏玲

【センター内主担当】日本語教育担当（専任教員）

【研究分野】 談話分析，語用論，対照言語研究

【研究活動】

論文

1. 「多言語読み聞かせ活動を通じた親子および支援者の学びについての考察
—地域の日本語支援教室での事例—」江口典子・許夏玲
『東京学芸大学紀要 総合教育科学系 II』第74集
2. 「非恩恵を表す「てやる」「てあげる」の使用実態に基づく意味用法の再考」
荒井直美・許夏玲
『東京学芸大学紀要 総合教育科学系 II』第74集

【教育活動】

1. 留学生センター開設科目
(春学期) 「日本語1作文A2」「日本語3作文A」
(秋学期) 休業
2. 学部開設科目 (春学期) 「日本語教育概説」
3. 大学院開設科目
(春学期) 「フィールド研究B」, 「次世代日本型教育と日本語教育」(オムニバス科目), 「日本語教育IB」, 「特別研究I」
(秋学期) 休業
4. 修士論文主査4名, 副査6名, 研究指導(修士論文M1生3名, 研究生5名, 日研生3名)
5. 自主日本語ゼミ(春学期)月4回
6. カフェ講座「海外の学校教育事情」(春学期週1回、計4回)コーディネーター
7. 多文化共生教育セミナー「地域の国際交流と今後の課題について」(薦田庸子氏 [武蔵野市国際交流協会]) (6月29日)

【その他の活動】

- ①学内 (2022.10.3~2023.2.10 休業)
1. 情報教育授業運営部会 委員
 2. 留学生センター運営委員会 委員
 3. 大学院次世代日本型教育研究開発専攻日本語教育領域主任
- ②学外
- 名古屋大学 招待講演「語用論と日本語教育」 2022.11.16

【所属学会】日本語教育学会, 社会言語科学会, 香港日本語教育研究会

■山出裕子

【センター内主担当】日本語教育担当（特任教員）

【研究分野】日本語教育、社会言語学、比較文学

【研究活動】

（研究論文）

山出裕子(2022)「文学を用いた日本語教育の実践研究とその分析 ―コミュニケーション重視の言語教育における文学の役割―」『日本大学大学院総合社会情報研究科紀要』vol. 23 no. 1: pp. 73-82.

（研究論文）

山出裕子(2023)「北米の日系社会を描く田村俊子の作品に関する一考察―「小さき歩み」と「カリホルニア物語」に描かれる二世を比較して―」『東京学芸大学紀要 総合教育科学系』第74集

【教育活動】

1. センター開設科目

（春学期）「日本語レベル4 総合A」

（秋学期）「日本語レベル5 総合B」「日本語レベル5 作文B」「教研生特別演習」

2. 学部開設科目

（春学期）「日本語教育特論」

3. 大学院開設科目

（春学期）「次世代日本型教育と日本語教育」（オムニバス科目）

4. 研究指導 交換留学生1名

【その他の活動】

学外

1. 科学研究費補助金 基盤B（研究代表者 山崎真紀子）（日本大学）

「日中戦時下の中国語雑誌『女声』研究」（研究協力者）

【所属学会】

ヨーロッパ日本研究協会、オーストラリア日本学会

母語・継承語・バイリンガル教育学会、アジア系アメリカ文学研究会

資料1 日本語科目（日本語1～5）一覧（*印は学部開設科目）

2022年度春学期

科目名	担当教員	曜日・時限
日本語1 総合 A	岩崎拓也	金 1
日本語1 作文 A1	横山和子	月 3
*日本語1 作文 A2（表現法 A・ライティング I）	北澤尚	木 1
日本語1 講読 A	新谷あゆり	金 4
*日本語1 会話 A1（表現法 C・口頭コミュニケーション I）	齋藤敬太	月 1
日本語1 会話 A2	桂千佳子	金 2
日本語1 文法 A	石崎晶子	火 3
日本語1 聴解 A	横田亜朱紗	金 3
日本語1 漢字 A	荒巻朋子	木 2
日本語1 特別演習 A（ビジネス日本語）	福島恵美子	木 3
日本語1 特別演習 A（ドラマで学ぶ日本語）	宮本典以子	水 1
日本語2 総合 A	横山和子	月 2
日本語2 作文 A	許夏玲	木 2
日本語2 講読 A	横田亜朱紗	金 4
日本語2 会話 A	坂田睦深	火 2
日本語2 文法 A	岡智之	水 1
日本語2 漢字 A	李貞暎	火 1
日本語2 聴解 A	福島恵美子	木 4
日本語2 特別演習 A（マンガで学ぶ日本語）	宮本典以子	水 2
日本語2 / 3 特別演習 A（多読）	桂千佳子	月 1
日本語3 総合 A1	笹目実	水 1
日本語3 総合 A2	笹目実	水 2
日本語3 作文 A	荒井直美	月 2
日本語3 講読 A	荒巻朋子	木 3
日本語3 会話 A	岩崎拓也	金 2
日本語3 漢字 A	稲田直子	木 2
日本語3 文法 A	桂千佳子	金 1
日本語3 聴解 A	新谷あゆり	金 3
日本語4 総合 A1～A2	今井美登里 山出裕子	火 1・2 木 1・2
日本語4 作文 A	李貞暎	水 1
日本語4 講読 A	荒井直美	月 1
日本語4 会話 A	李貞暎	水 2
日本語4 漢字 A	伊能裕晃	金 3
日本語4 聴解 A	桂千佳子	月 2
日本語5 総合 A1～A5	宮本典以子 石崎晶子 鈴木美恵子 稲田朋子 小西円	月 1・2 火 2 木 1・2 木 3 金 2
日本語5 漢字 A1～A2	坂田睦美 笹目実	火 1 金 1

2021年度秋学期

科目名	担当教員	曜日・時限
日本語1 総合 B	稲田直子	木 2
日本語1 作文 B1	横山和子	月 3
*日本語1 作文 B2（表現法 B・ライティング II）	北澤尚	木 1

日本語 1 講読 B	新谷あゆり	金 4
*日本語 1 会話 B1 (表現法 D・プレゼンテーション II)	南浦涼介	月 1
日本語 1 会話 B2	荒巻朋子	木 3
日本語 1 文法 B	石崎晶子	火 2
日本語 1 聴解 B	横田亜朱紗	金 3
日本語 1 漢字 B	笹目実	月 2
日本語 1 特別演習 B (ビジネス日本語)	福島恵美子	木 4
日本語 1 特別演習 B (ドラマで学ぶ日本語)	宮本典以子	水 1
*日本語 1 / 2 特別演習 B (プロジェクト)	伊能裕晃	金 2
日本語 2 総合 B	横山和子	月 2
日本語 2 作文 B	小池恵己子	木 1
日本語 2 講読 B	横田亜朱紗	金 4
日本語 2 会話 B	坂田睦深	火 1
日本語 2 文法 B	荒巻朋子	木 2
日本語 2 聴解 B	福島恵美子	木 3
日本語 2 漢字 B	李貞暎	水 1
日本語 2 特別演習 B (マンガで学ぶ日本語)	宮本典以子	水 2
日本語 2 / 3 特別演習 B (多読)	桂千佳子	金 6
日本語 3 総合 B1	伊能裕晃	火 1
日本語 3 総合 B2	伊能裕晃	火 2
日本語 3 作文 B	桂千佳子	月 6
日本語 3 講読 B	岩崎拓也	金 2
日本語 3 会話 B	李貞暎	月 5
日本語 3 文法 B	許夏玲	水 6
日本語 3 聴解 B	新谷あゆり	金 3
日本語 3 漢字 B	稲田直子	木 1
日本語 4 総合 B	今井美登里 笹目実	火 4・5 水 4・5
日本語 4 作文 B	許夏玲	木 5
日本語 4 講読 B	飯野清士	金 2
日本語 4 会話 B	宮本典以子	木 4
日本語 4 漢字 B	李貞暎	月 4
日本語 4 聴解 B	桂千佳子	月 5
日本語 5 総合 B	山出裕子 鈴木美恵子	月 1・2 木 1・2
日本語 5 作文 B	許夏玲	水 2
日本語 5 講読 B	石崎晶子	木 3
日本語 5 会話 B	岡智之	水 1
日本語 5 漢字 B	坂田睦深 飯野清士	木 1 金 1

資料2 日本理解科目一覧

2021 年度春学期

科目名	担当教員	曜日・時限
日本理解 A (教育) / 多文化共修科目 D	李 紅実	木 4
日本理解 C (人文)	齋藤 敬太	金 2
日本理解 E (人文)	高崎 恵	金 5
日本理解 G (自然)	澤田康徳	火 1
多文化共修科目 A 「多文化社会の問題解決プロジェクト」	岡 智之	木 5
多文化共修科目 C 「世界の言語と文化」	伊能 裕晃	月 1

2020 年度秋学期

科目名	担当教員	曜日・時限
日本理解 B (教育)	遠座 知恵	木 3
日本理解 D (人文)	千田 洋幸	金 2
日本理解 F (社会) / 多文化共修科目 F	加藤 拓	金 1
日本理解 H (芸術)	石井 健	金 4
多文化共修科目 B 「多言語社会とコミュニケーション」	岡 智之	木 5
多文化共修科目 D 「世界の民族と文化」	有澤知乃	火 3

資料3 短期留学プログラム (ISEP) 科目一覧

2022 年度春学期

	科目名	担当教員
1	Global Japan Studies A	有澤 知乃 (留学生センター)
2	Educational System and School Reform in Japan	末松 裕基 (学校教育教室)
3	Cross-Cultural Ideas and Activities	戸田 孝子 (国際教育教室)
4	Cross-Cultural Discussion and Presentation	戸田 孝子 (国際教育教室)
5	Cultural Social Psychology of the Japanese	杉森 新吉 (学校心理学教室)
6	Introduction to Psychophysiology	池田 一成 (学校心理学教室)
7	The Aesthetics and Affects of Cuteness	Joshua P. Dale (英語科教室)
8	Exploring the Cultural Diversity of Japan (I)	有澤 知乃 (留学生センター)
9	Theatre Workshop	高尾 隆 (表現コミュニケーション教室)

2022 年度秋学期

	科目名	担当教員
1	Global Japan Studies B	有澤 知乃 (留学生センター)
2	Study of Japanese Schools	荒井 英治郎 (非常勤講師)
3	Cross-Cultural Teaching Practice	戸田 孝子 (国際教育教室)
4	Exploring the Cultural Diversity of Japan (II)	有澤 知乃 (留学生センター)
5	Critical Issues in Contemporary Japanese Society	オムニバス, コーディネーター: 白倉美里 (英語科教室)
6	Global Comparative Education	Sam Bamkin (英語科教室)
7	Japanese Business Enterprises	原田 和雄 (理科教室)
8	A Study of Traditional Metal Carving Techniques	古瀬 正浩 (美術科教室)
9	Traditional Performing Arts of Japan	有澤 知乃 (留学生センター)
10	Sports and Physical Activities for Children in Japan	鈴木 直樹 (保健体育科教室)
11	Table Tennis	渡辺 雅之 (保健体育科教室)

資料4 主な行事の写真



漫画ワークショップ (2022/5/18)



歌舞伎鑑賞教室 (2022/7/27)



秋のお散歩 (2022/10/26)



附属小金井小学校 (2022/11/16)



国際交流漫才 (2022/12/14)



大相撲トーナメント (2022/2/5)

資料5 各プログラム概要

■日本語日本文化研修プログラム概要

1 研修内容

以下の6分野に分かれています。

- (1)日本語科目 (2)日本理解科目 (3)日研生特別演習
(4)専門研究 (5)個人研究 (6)文化交流

(1) 日本語科目

各学期のはじめにプレースメントテストがあります。留学生対象の日本語科目を受講したい人はかならず受けてください。

留学生対象の日本語科目は「選択科目」です。日本語力が十分にある人は、専門研究を通して日本語力を高めることもできます。

(2) 日本理解科目

留学生対象の日本理解に関する科目として、「日本理解」8科目（秋学期：B, D, F, H、春学期：A, C, E, G）、「多文化共修科目」4科目（秋学期：B, D、春学期：A, C）があります。これらの科目は「選択必修科目」です。この中から最低2科目を選んで受講してください。

(3) 日研生特別演習

日研生のための「日研生特別演習」（秋学期）・「日研生特別研究」（春学期）があります。これらは「必修科目」です。かならず出席してください。

(4) 専門研究

自分の研究テーマや興味・関心、日本語力を考えて、指導教員とよく相談し、必要な科目を選択してください。留学生対象科目以外に学部の開設科目も受講できます。

(5) 個人研究

研修修了までに、レポートにまとめて提出します。テーマについては、指導教員とよく相談してください。「日研生特別研究」の時間帯で、レポートの内容について発表してもらいます。

(6) 文化交流（学生交流、地域交流、見学旅行ほか）

大学の企画のほか、民間団体や自治体主催のホームステイ・プログラムや小中学校の国際理解プログラム、地域の行事などがあります。大学に案内がきた場合は、国際課の掲示板に掲示しますので、各自で申し込んでください。

2 修了証書と修了要件

1年間の研修を終え、その成果を指導教員が認めたものについては、本学学長名において修了証書を授与します。修了のためには、つぎの4点が必要です。

- a. 上記(2)を2科目以上履修すること
- b. 上記(3)の2科目を履修すること
- c. 上記(1)～(4)まで合わせて14科目以上履修すること
- d. 上記(5)のレポートを期限までに提出すること

*毎学期、7科目以上履修しなければなりません。

8月の時点で以上4点が確認できないと、プログラム修了と認められません。

■ISEPプログラム概要

ISEP (International Student Education Program) では留学生向けに幅広いトピックの授業を英語で開講しています。また、教室で行われる通常の授業の他に、音楽、美術、運動のクラスや、フィールドスタディーのクラスもあります。ISEP生はその他に、ISEPセミナーに出席し、各自で決めた研究テーマの理解を深めるため、指導教員の指導のもと、調査を行いレポートにまとめます。

・授業

以下の6分野に分かれています。

1. ISEP 科目

授業は英語で行われます。全ての留学生が履修することができます。

2. Global Japan Studies

秋学期、春学期共に開講され、必修科目です。

3. 個人研究

ISEP生は全員、個人研究に取り組みます。秋学期の終わりに研究計画書、春学期の終わりには最終レポートを提出する必要があります（秋学期のみの参加者は秋学期の終わりまでに最終レポートを提出します）。レポート提出後は指導教員と ISEP 教員等の前で発表をします。

4. 日本語科目

ISEP 生はそれぞれのレベルに合わせた日本語の授業を取ることができます。レベルは5（初級）から1（上級）まであり、プレースメントテストの結果によって履修するレベルが決まります。

5. 日本理解科目

日本語能力の高い留学生は、留学生向けに日本語で行われる「日本理解科目」を受講することもできます。また、留学生と日本語を母語とする学生が共に同じ教室で学ぶことのできる「多文化共修科目」を履修することもできます。

6. その他の授業

日本語能力の高い ISEP 生は東京学芸大学で開講されている一般学生向けの授業を履修することもできます。全ての講義は日本語で行われるため、留学生の語学力によって履修できるかどうかが決まります。

ISEP 生は1学期に12単位以上の授業を履修しなければなりません。そのうち7単位は ISEP 科目である必要があります。

- ISEP 科目 = 1 または 2 単位
- 個人研究 = 1 学期につき 1 単位
- 日本語科目 = 1 授業につき 1 単位
- 日本理解科目 = 2 単位
- 学部生向けのその他の授業 = 1 または 2 単位

■教員研修プログラム

1. プログラムの目的

教員研修留学生プログラムは、本国で教育ないし教育行政にたずさわる人が日本の大学の教員養成学部において18か月間の研修を行い、その成果を帰国後に本国で生かしてもらうというものである。

研修留学生の専門の研究はそれぞれ所属の研究室にておこなうが、日本語の運用能力を身につけずに来日した場合は、初めの1学期間、留学生センターの日本語コースにて1週間9コマ×15週間の集中コースを受講する。

2. 研修内容

2-1 専門教育

指導教員の指導のもとで、研修生の希望、個人研究のテーマ、日本語能力などを考慮して履修科目を決定する。

2-2 個人研究

本人の希望する研究テーマについて、指導教員の指導の下で研究し、研修終了時までその成果をレポートにまとめ、提出する。これは報告書として刊行される。

2-3 見学実習

附属学校・教育行政機関・施設などの参観、地域の文化活動への参加、日本人学生との交流、見学実習などを必要に応じて実施する。

2-4 日本理解科目

下記の2科目以上を履修しなければならない。

- ① 年度ごとに指定する科目の中から1科目以上。
- ② 「日本理解科目 A~H（春学期 ACEG、秋学期 BDFH）」、「多文化共修科目 A~D（春学期 AC、秋学期 BD）」、「留学生教育プログラム（ISEP）科目」のすべての科目の中から1科目以上を履修する。
(①+②で2科目以上)

科目とその概要については各学期のはじめに案内する。日本理解科目の一覧表は留学生センターのホームページに掲載されている。

2-5 特別演習 Special Seminar

最初の秋学期のみ、毎週水曜日3限に特別演習が行われる。

2-6 日本語科目 Japanese-Language Courses

日本語科目はプログラムの必修科目ではないが、履修を希望する者は必ずプレースメントテストを受け、その結果にしたがって指示されるクラスで受講する。

2-7 修了証書 Certificate of Completion

所定の研修を終え、その成果を指導教員が認めた者については、本学学長の名において修了証書を授与する。

■シラパコーン大学7 + 1プログラム

1. プログラムの目的

本プログラムは、協定校であるタイ王国シラパコーン大学人文学部との特定協定に基づくプログラムである。シラパコーン大学人文学部アジア研究科では、学部4年間のうち、1学期間を外国に留学させ、海外での生活を体験させ、その国の言語や社会・文化を現地で学ばせる「7 + 1カリキュラム」を実施しており、本学留学生センターもその受け入れ先となっている。

2. プログラムの内容

2. 1 日本語科目

本プログラム生は日本語の授業を7科目以上履修しなければならない。レベルは5（初級）から1（上級）まであり、プレースメントテストの結果によって履修するレベルが決定される。

2. 2 特別演習

本プログラム生は特別演習を履修しなければならない。特別演習は、インタビューや発表、レポートなどを通じて、日本人と日本の社会や文化について考える科目である。

2. 3 文化交流行事

歌舞伎鑑賞教室、華道体験教室、防災館見学等、各種の課外活動が行われる。

3. 修了証書と修了要件

1学期間のプログラムを終え、日本語と日本文化に関する8科目について所定の成績を納めたものについては、本学学長名において修了証書を授与する。